

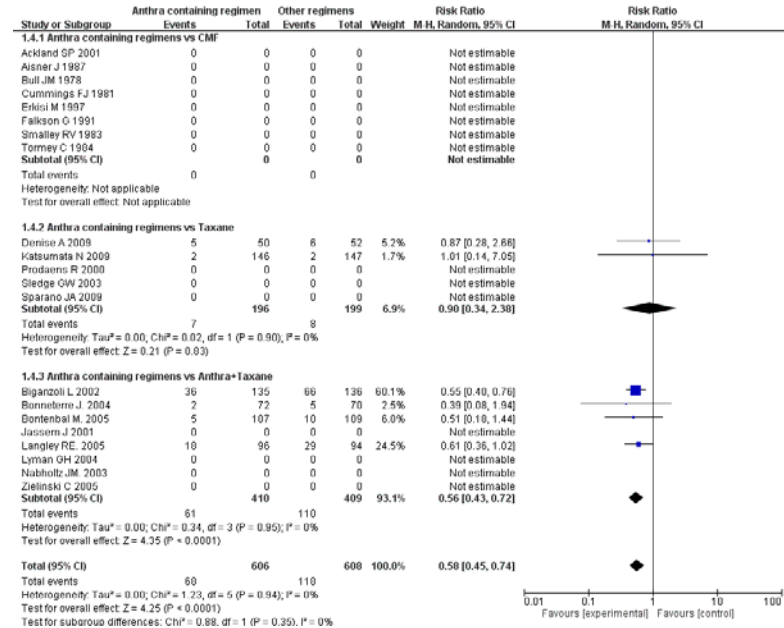
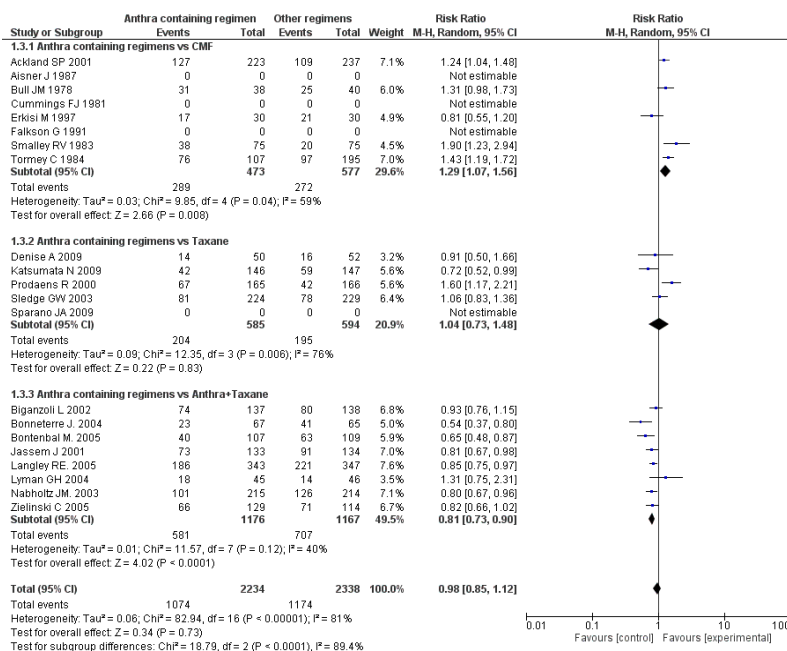
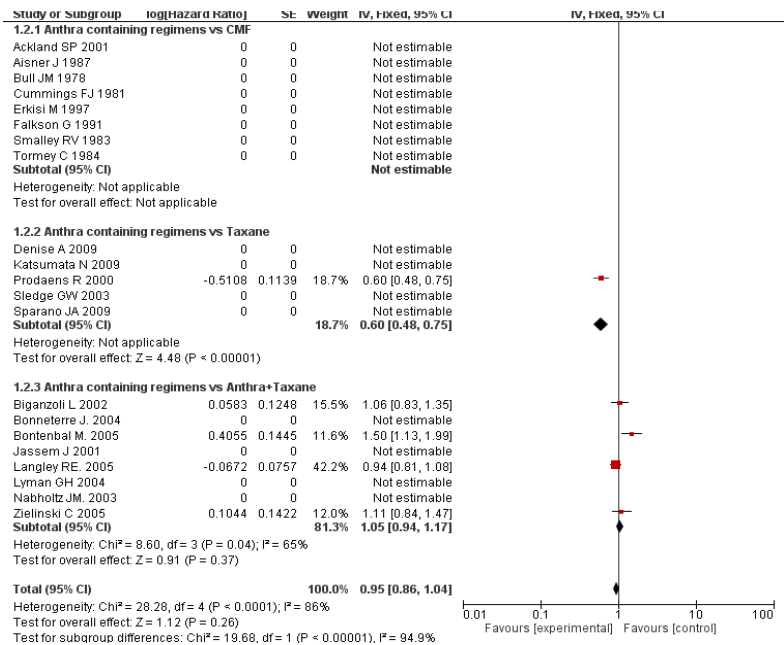
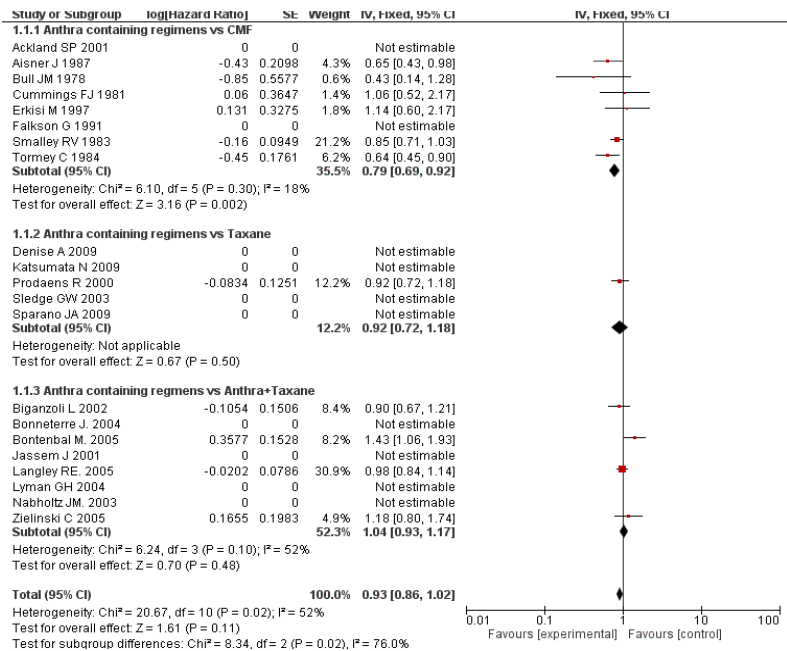
【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2018年版
対象	HER2陰性転移・再発乳癌(女性)
介入	アンスラサイクリンを含むレジメン
対照	その他のレジメン

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

エビデンス総体								リスク人数(アウトカム率)											
アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	対照群分母	対照群分子	(%)	介入群分母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント
OS, 1st	RCT/20	-1	-1	0	-1	-1								HR	0.93	0.86-1.02	中(B)	9	アンスラサイクリンを含むレジメンはCMFに対して有意にOSを延長する。一方でタキサンに対して、またタキサン+アンスラサイクリンに対してはOSに差は認めない。
PFS, 1st	RCT/20	-1	-1	0	-1	-1								HR	0.95	0.86-1.04	中(B)	7	1試験のみの結果でアンスラサイクリンはタキサンと比較しPFSを延長した。またアンスラサイクリン+タキサンとは差は認めない。
ORR, 1st	RCT/20	-1	-1	0	-1	0								RR	0.98	0.85-1.12	中(B)	7	アンスラサイクリンはCMFに対してORRが良好である。またタキサンに対しては同等で、アンスラサイクリン+タキサンに対しては有意に低い結果であった。
QOL	RCT/3																	7	定量的SR無し
Toxicity	RCT/20	-1	0	0	-1	-1								RR	0.58	0.45-0.74	中(B)	7	アンスラサイクリンとタキサンのToxicityは同等であるが、アンスラサイクリン+タキサンは有意に悪い。

コメント(該当するセルに記入)



【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2018年版
対象	HER2陰性転移・再発乳癌(女性)
介入	エリブリン
対照	その他の化学療法

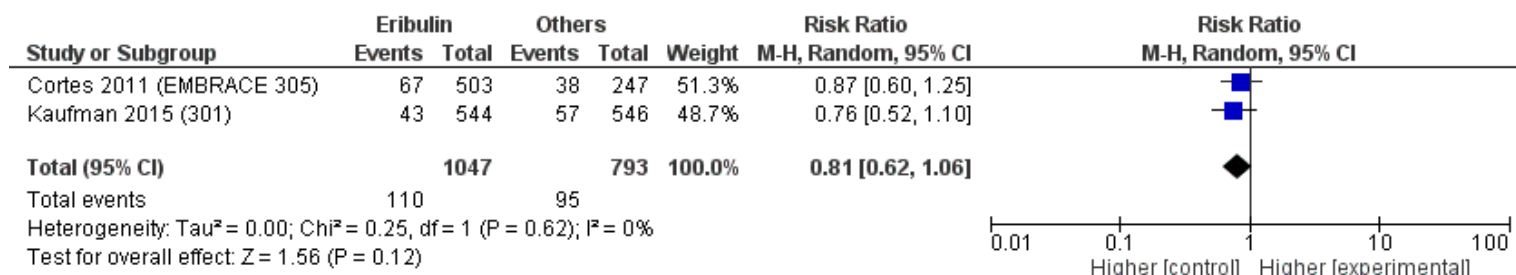
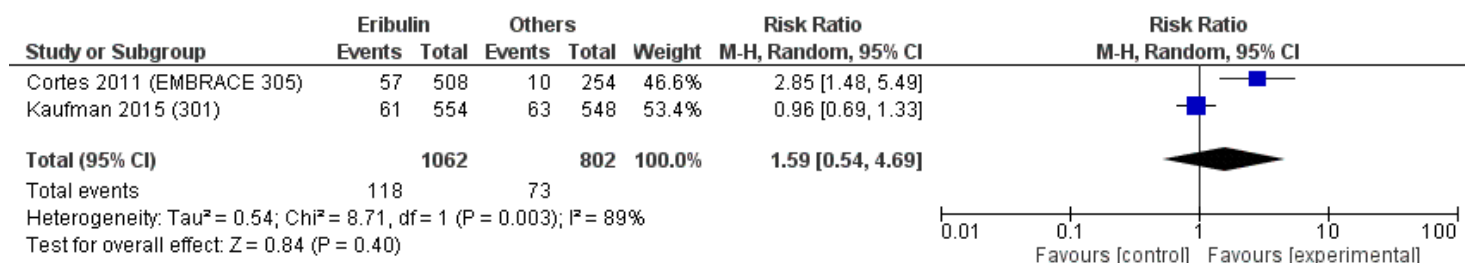
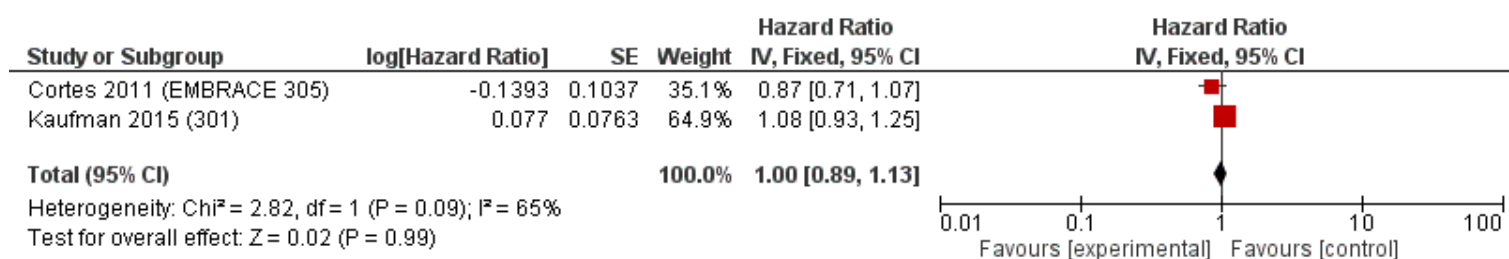
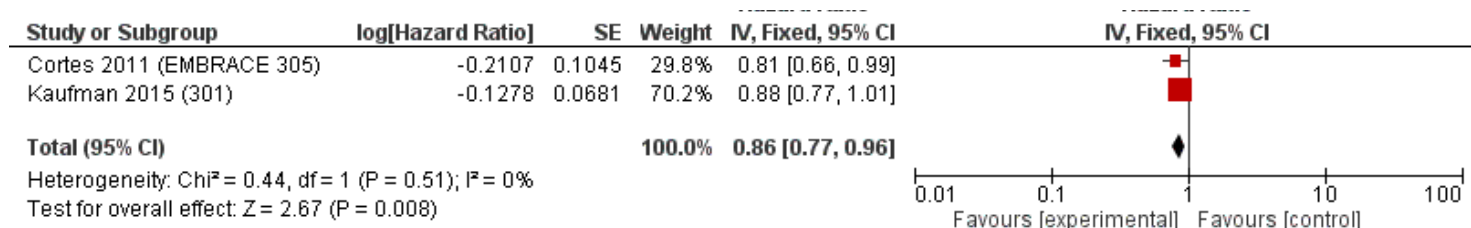
エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
* 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

エビデンス総体								リスク人数(アウトカム率)											
アウトカム	研究デザイン/研究数	バイアスリスク*	非一貫性*	不精確*	非直接性*	その他(出版バイアスなど)*	上昇要因(観察研究)*	対照群母	対照群分子	(%)	介入群母	介入群分子	(%)	効果指標(種類)	効果指標統合値	信頼区間	エビデンスの強さ**	重要性***	コメント
OS	RCT/2	-1	0	0	-1	-1		802	607	75.5	1062	720	67.8	HR	0.86	0.77-0.96	中(B)	9	Eribulin群で有意にOSが良好。
PFS	RCT/2	-1	0	0	-1	-1		802	524	65.3	1062	742	69.9	HR	1	0.89-1.13	中(B)	7	有意水準に達しない
ORR	RCT/2	-1	-1	0	-1	-1		802	73	9.1	1062	118	11.1	RR	1.59	0.54-4.69	中(B)	7	有意水準に達しない。2試験で異なる結果
QOL	RCT/0																	7	定量的SR無し
Toxicity (therapy discontinuation)	RCT/2	-1	0	0	-1	-1		793	95	12	1047	110	10.5	RR	0.81	0.62-1.06	中(B)	7	有意水準に達しない。

コメント(該当するセルに記入)

Hazard Ratio

Hazard Ratio



【4-7 評価シート エビデンス総体】

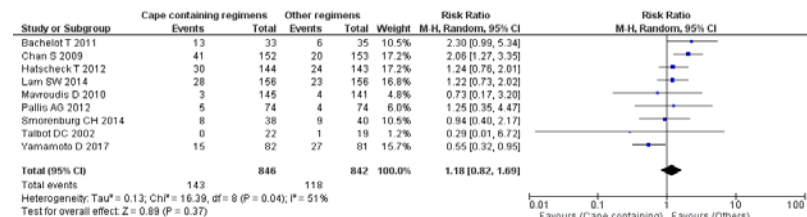
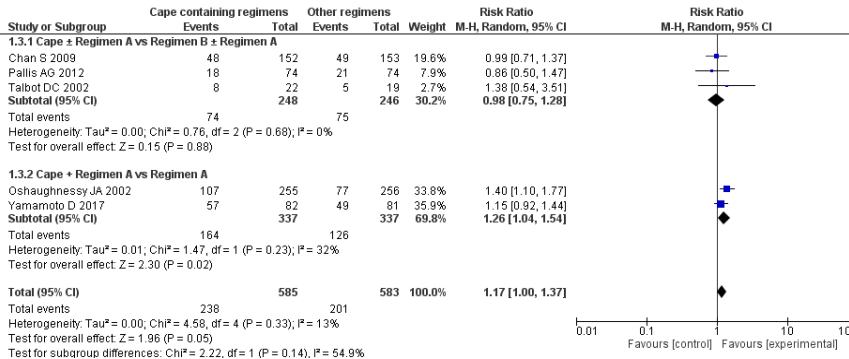
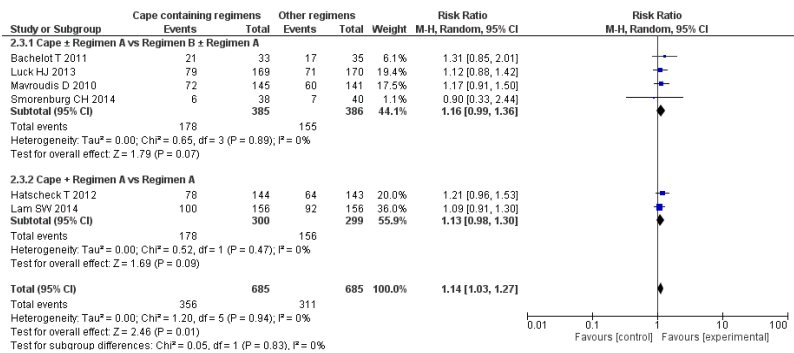
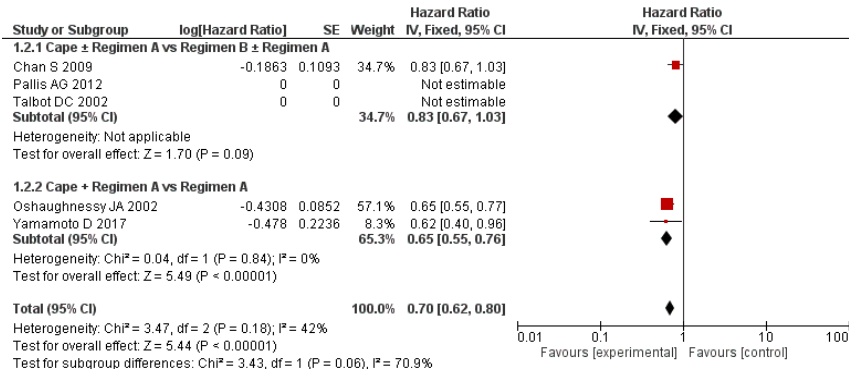
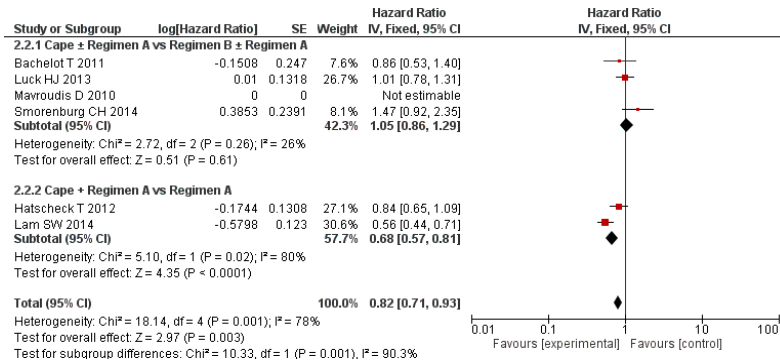
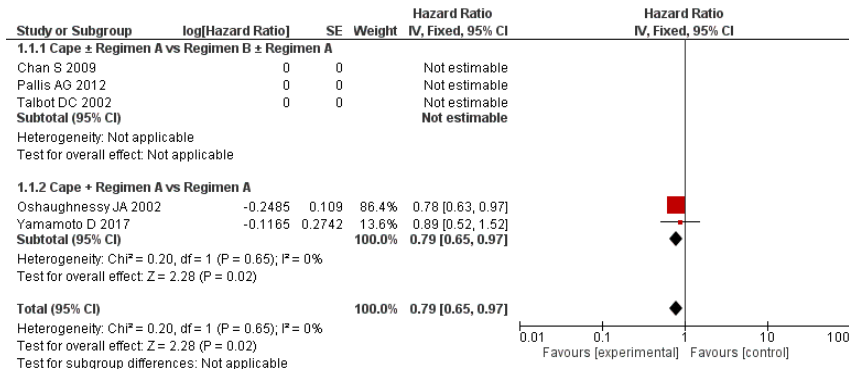
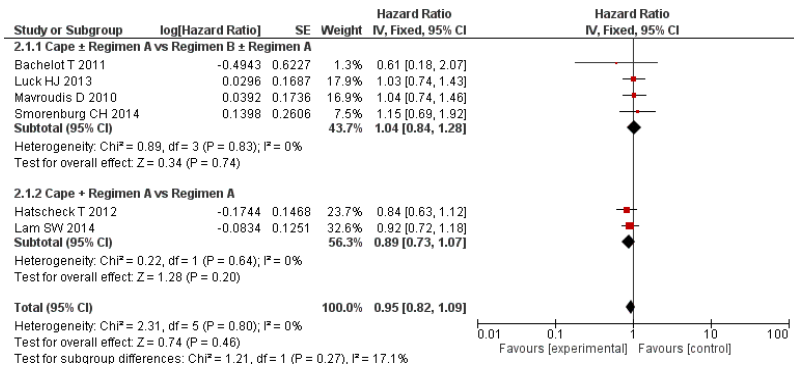
診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2018年版
対象	HER2陰性転移・再発乳癌(女性)
介入	カペシタビンを含むレジメン
対照	その他のレジメン

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート
 * 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階
 *** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階
 ** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

[illegible]

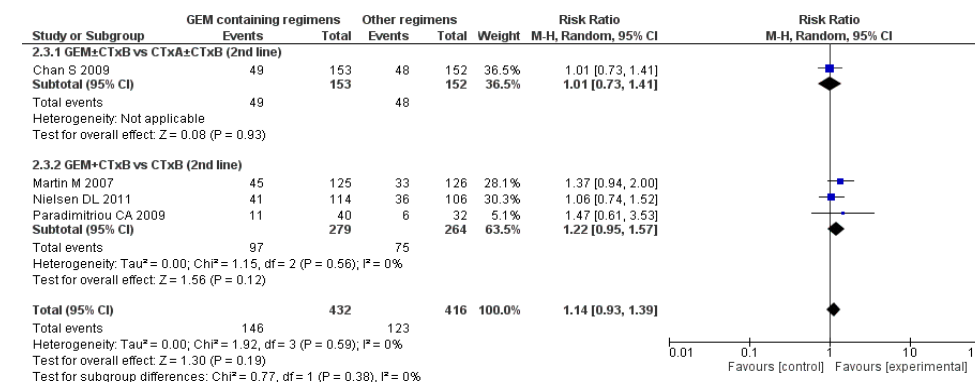
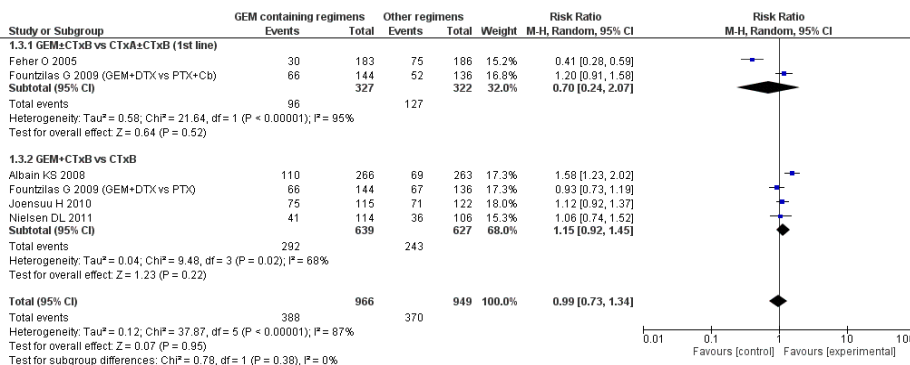
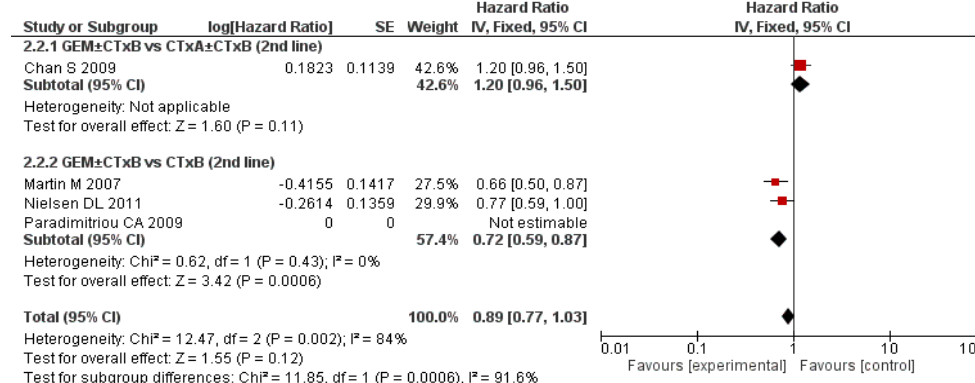
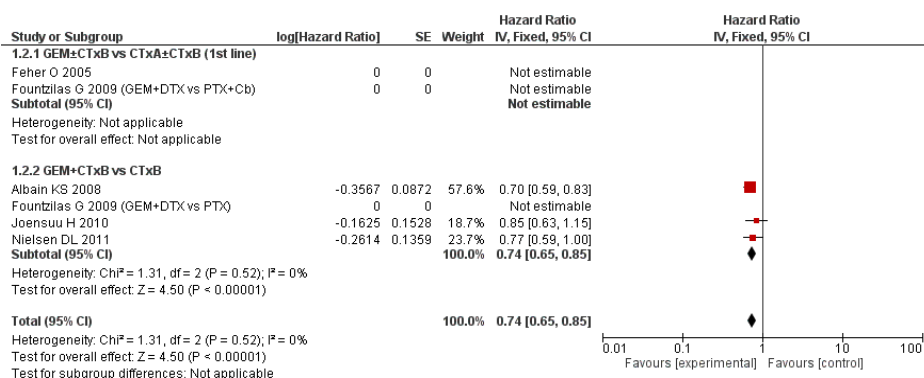
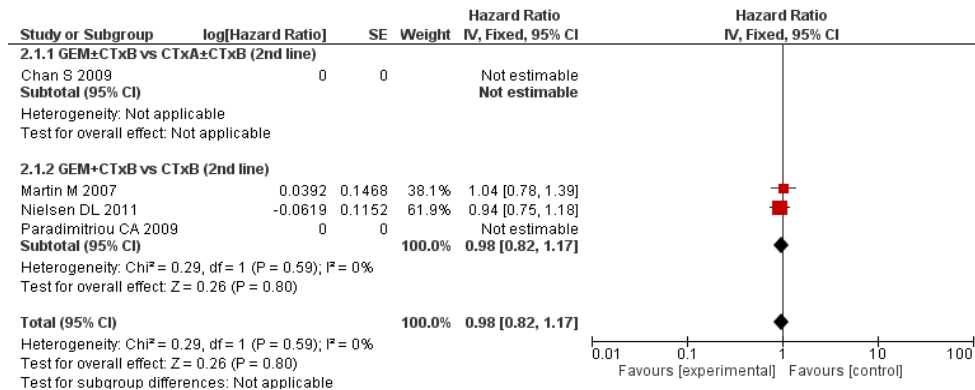
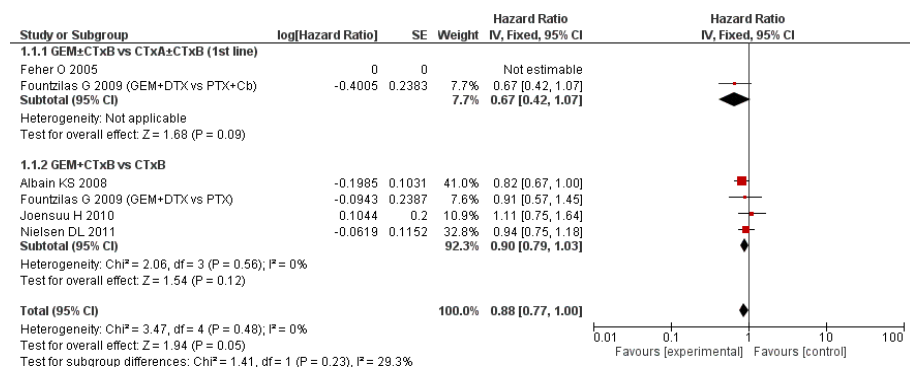
コメント(該当するセルに記入)

[illegible]



診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2018年版
対象	HER2陰性転移・再発乳癌（女性）
介入	ゲムシタピンを含むレジメン
対照	その他のレジメン

[illegible][illegible]



【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2018年版
対象	HER2陰性転移・再発乳癌（女性）
介入	タキサンを含むレジメン
対照	その他のレジメン

エビデンスの強さはRCTは“強(A)”からスタート、観察研究は弱(C)からスタート

* 各ドメインは“高(-2)”、“中/疑い(-1)”、“低(0)”の3段階

** エビデンスの強さは“強(A)”、“中(B)”、“弱(C)”、“非常に弱(D)”の4段階

*** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

[illegible]

コメント(該当するセルに記入)

[illegible]

